ごみ処理広域化 ―シリーズ vol.1―

平塚市と進めているごみ処理広域化を５回に分けお知らせします。

焼却施設が老朽化

大磯町の焼却施設は平成２年に稼動してから19年が経過し、老朽化が進んでいます。

毎年、施設の補修に多くの費用がかかっており、これ以上の延命化は困難な状況です。

施設整備には莫大な経費が

ごみ処理施設などを新たに建設するには、莫大な費用がかかります。

国から交付金を受けることができますが、一定の条件（人口５万人以上又は面積400㎢以上の面積を有する地域）があり、町単独ではこの条件を満たすことができないため、国からの交付金を受けることができません。

このまま町単独でごみ処理を進めると、廃棄物処理施設の建設費用の負担が増え、その後もごみ処理にかかる費用の増大が予想されます。

ごみ処理広域化を進めることにより、新たに建設する廃棄物処理施設の建設費用の削減や、ごみ処理経費の削減のメリットがでてきます。

最終処分場がありません！

町には最終処分場がないため、焼却した後の灰などは長野県の民間最終処分場に埋め立てをしてもらっています。灰などの処分に毎年多くの経費が掛かっていますが、広域化になれば平塚市の最終処分場などを利用できることになります。

なぜ平塚市と行なうのか

神奈川県ごみ処理広域化計画などにより、町は、平塚市、二宮町の１市２町で湘南西ブロックとしてごみ処理広域化を進めてきました。

平成18年２月には１市２町でごみ処理広域化に関する基本協定が締結されましたが、二宮町の脱退により、平塚市との１市１町でごみ処理広域化進めることになりました。

ごみ処理広域化の必要性

ごみの処理は、市町村が行うことになっています。しかし、ごみ処理は高度化、複雑化しており、町単独での対応が難しくなってきています。

新たな施設を建設するには莫大な費用がかかることや、小さな施設には交付金が出ないことなどから、ごみ処理広域化が必要となっています。

▲老朽化が進むごみ処理施設

◎**問い合わせ**
環境経済課　☎内線３５９

夏休み企画

「万台こゆるぎの森」で夏の夜空を一緒に見よう！

夏休みに万台こゆるぎの森（星槎湘南大磯キャンパス）で開催される学校法人国際学園による講座・イベントを紹介します。

夏休みこども天体観測会

①ペルセウス座流星群を見よう

１時間に20～30個の流星が見られるペルセウス座流星群を一緒に観測しませんか。

▼**日時**　８月13日（木）午後８時30分から10時まで

②月の表面を観察しよう

月の表面ってどうなっているのかを一緒に観測しませんか。

▼**日時**　８月26日（水）午後８時から９時30分まで

※天体観測会は平塚市博物館主任学芸員の鴈宏道先生にアドバイスをいただきます。

公開講座

講師にＷＨＯ（世界保健機構）医務官のスマナ・バルアさんをお招きして、「人間として人間をお世話すること」をテーマにお話いただきます。

▼**日時**　８月27日（木）午後１時から２時30分まで

オープンキャンパス

星槎大学への入学を検討されている高校生・社会人の方々を対象に、施設案内・講座案内・体験入学イベントです。

▼**日時**　８月22日（土）午前11時から午後３時まで

※各種講座・イベントは事前にお申し込みが必要です。

◎**申し込み・問い合わせ**
学校法人　国際学園
☎（71）６０４７

※「万台こゆるぎの森」の一般開放は現在休止中です。園内の工事が完了次第再開しますので、もうしばらくお待ちください。

◎**問い合わせ**
財政課　☎内線２１７